



さざなみ

第1回男女共同参画ワークショップ

みんなで考えよう「私らしく生きるって」 イベントレポート

コラム

LGBTQへのよくある勘違い

第1回男女共同参画セミナー

フィンランド流の幸せな生き方

～ジェンダー平等先進国に学ぶ～ イベントレポート

ちょっぴりくわしくなれる 男女共同参画ミニ教科書



第1回男女共同参画ワークショップ

みんなで考えよう「私らしく生きるって」 イベントレポート

令和6年6月23日(日)に男女共同参画センターにて、今年度より初の試みである「男女共同参画ワークショップ」を開催しました。

「男女共同参画ワークショップ」は、本市の男女共同参画の現状を知ることや男女共同参画社会の実現に向けて必要なことを考え、これから何ができるのかを理解することを目的としています。

第1回目は、『みんなで考えよう「私らしく生きるって」』をテーマに、ワークショップの前半は、本市の男女共同参画の現状などについて講義を行いました。後半では、参加者がグループとなり、意見交換をした後、グループごとに考えを発表しました。



▲まずはみんなで意見の出し合い



▲様々な意見が集まりました

グループディスカッションでは、2つのテーマについて、話し合いました。

1つ目のテーマは、『社会の「アタリマエ」 なんか変だな日本のジェンダー意識』として、普段感じている男女間の隔たりや違和感等について意見を出し合いました。

「自治会の役員や職場の管理職には男性が未だに多い」、「スポーツの場面で、男性チームには男性の監督、女性チームには女性の監督が多い」といった意見が出ました。

2つ目のテーマは『地域の中の男女共同参画に必要なこと』です。「市議会でのクォーター制度の導入」、「教育現場における意識改革」といった制度的なものや「職場で育児休暇を取得しやすい雰囲気を作る」、「自治会の役員に立候補してみる」といった身近な意見など様々でした。

参加者の感想

- 多くの皆様の意見に触れることができ、大変刺激になりました。今後も少しずつ自分なりに興味を持って勉強していきたい。
- 意見を話したい方には、ワークショップの参加はとても有意義だと思う。いろいろな意見が出て良かった。
- とても有意義な時間を持てました。

コラム 「LGBTQへのよくある勘違い」

●同性愛は「普通じゃない人」？「普通」の枠組みで考えてしまう危険性

男性が女性を、女性が男性を愛するといった異性愛は日常的に当たり前に身の回りにあふれています。気が付かないだけで、無意識のうちにそれを「普通」ととらえ、そうじゃない人を「普通じゃない」と枠にあてはめています。性のあり方は多様で、すべての人に当てはまることから、お互いを理解、尊重していく意識を持つことが重要です。

●「自分の身の回りにLGBTQの人はいない」と思い込む人

身近な人にLGBTQの人がいないので特に気にしない、騒がなくていい、考えなくていいという方もいます。これは、いないのではなく、いたとしてもカミングアウトができない状況とも考えられます。カミングアウトすることで、差別やハラスメントを受けたり、今までの人間関係が壊れたりすることを考えてしまい、カミングアウトを躊躇する人も多くいます。あなたの近くにはいないのではなく、見えていないだけなのかもしれません。

フィンランド流の幸せな生き方 ～ジェンダー平等先進国に学ぶ～ イベントレポート



講師： **堀内 都喜子** さん
Tokiko Horiuchi

Profile

長野県出身。フィンランドのユヴァスキュラ大学
大学院でコミュニケーション専攻、修士号取得。
現在フィンランド大使館広報部に勤務。
著書『フィンランド 幸せのメソッド』（集英社新書）。
『フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が
終わるのか』（ポプラ新書）など。

令和6年8月3日(土)赤坂ふれあいセンターにて、第1回男女共同参画
セミナーを開催しました。フィンランド人がどのようにして、ワーク・ライフ・
バランスを実現しているのかなどについてお話いただきました。

講座の感想

今年最初のセミナーで
ある今回は、ライター・
翻訳家として多方面で活
躍されている堀内 都喜
子さんを講師としてお迎
えし、フィンランドにお
ける男女平等についてお
話をいただきました。

七年連続幸福度ランキ
ング一位であり、ジェン
ダーギャップ指数世界二
位のフィンランド流の幸
せな生き方を、社会の仕
組みや働き方・教育・生
活の様子や考え方等を通
して、具体的に教えてい
ただきました。

有給休暇の取得率は百
パーセント、残業は殆ど
無く、午後四時には仕事
を終えて家族や友人との
時間を過ごす、ワーク・
ライフ・バランスがしっ
かりと整っている、一人

ひとりを大切に（年齢、
性別、属性に関係なく）
している社会だそうです。

哲学者フランク・マル
テラによると、幸せが感
じられる秘訣とは、自分
で選択していく、学びや
成長を感じる、他の人の
役に立てたと感じるこ
とだそうです。

自然と人を大切にする
フィンランドの生活を知
り、価値観を考える良い
機会になりました。
（渡辺推進員）



▲皆さん興味津々の様子でした

参加者の声

◆フィンランドという国
の国民が人間らしく生き
るための努力に感服しま
したし、見習いたいで
す。

◆フィンランドについて
知りたかった事、これか
ら調べてみたい事も見つ
かりました。

◆フィンランドから学ぶ
こと、日本はどうかを比
べることが出来ていろい
ろ考えさせられたなど
思った。全てをフィンラ
ンドから学ぶわけではな
くても、とても参考にな
ることも多かった。

◆フィンランドの文化や
良いところを知ることが
できました。フィンラン
ドという国は知っていま
したが、文化や特徴につ
いてはあまり知らなかつ
たので、良い経験になり
ました。

◆環境、ジェンダー、教
育…どの話も「良いな
〜」と聞き入っていました。
日本もフィンラ
ンドのようになるのはい
つになるのか…。うらや
ましがってばかりではな
く、自分にできることを
続けて、少しでもフィン
ランドに近づきたいと思
います。



ちょっぴり
くわしくなれる

男女共同参画ミニ教科書

●ジェンダー平等ってなんだろう？

「男性は強くたくましくあるべき」「女性は家事育児をすべき」など個人の能力に関係なく、社会的・文化的に作られた性別による差別を「ジェンダー差別」と言います。「ジェンダー平等」とはこのような差別を解消し、性別に関わらず平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めてゆくことを意味しています。

●日本の現状を詳しく知ろう

ジェンダーギャップ指数

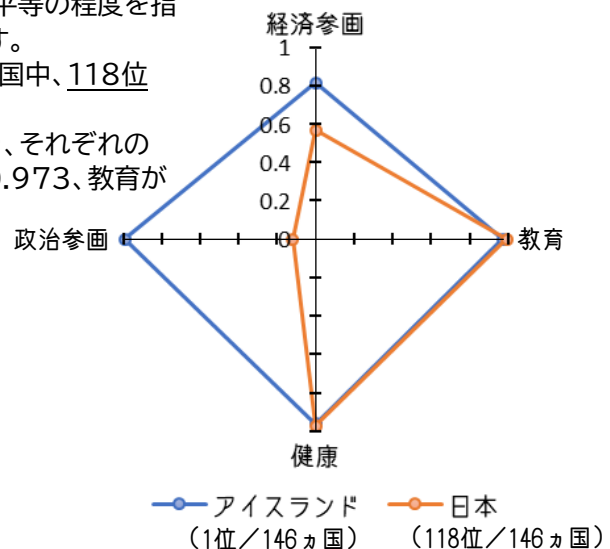
ジェンダーギャップ指数とは、世界各国のジェンダー平等の程度を指数にしたもので、1が完全平等、0が完全不平等の状態です。

日本のジェンダーギャップ指数は、0.663で、世界146か国中、118位です。(2024年)

経済参画、政治参画、健康、教育の4つのカテゴリーがあり、それぞれの数値は、経済参画が0.568、政治参画が0.118、健康が0.973、教育が0.993となっています。

順位	国名	値
1	アイスランド	0.985
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
⋮	⋮	⋮
118	日本	0.663

(内閣府 男女共同参画局「男女共同参画に関する国際的な指数」より抜粋)



6歳未満の子どもを持つ夫・妻の家事関連時間

日本では、6歳未満の子どもを持つ家庭において、夫と妻がそれぞれ家事や育児に費やす時間に差があります。例えば、2021年の段階では、夫は、1週間のうち**家事に30分**、**育児に65分**費やしていますが、一方で、妻は、**家事に178分**、**育児に234分**も費やしており、夫婦間でかなり差ができています。

(令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果 結果の要約より抜粋)



大学の進学率

日本では、**女子より男子の方が大学進学率が高い**状況にあります。

(男子59.7%、女子53.4% 「令和6年度男女共同参画白書」より抜粋)

この差は、昔と比べると縮まっていますが、「女性だから」という理由で大学進学を諦めざるを得ないケースもあるようです。

～これって不平等？～

「女性専用車両はあっても、男性専用はない」
「男性だけがイクメンなどと持ち上げられて、女性はあたりまえのように扱われることが多い」など、身の回りにはジェンダーの不平等を感じるシーンがあると思います。
皆さんは、どんな時にジェンダー不平等を感じますか？
また、それに対してどんな改善策があるのでしょうか。
ぜひ、身近な人と話し合ってみてください。